作陽悔しい3位

女子

創部8年初出場 前回覇者に完敗も「新しい歴史つくれた」

〝日本一〟の壁は高かった。変則日程のため勝てば優勝、負ければ3位となるサッカー女子準決勝。結果は0－3。胸元で輝く銅メダルにも作陽イレブンは涙が止まらない。前回覇者の日ノ本学園に力の差を見せつけられた。

DFラインからつなぐ相手に対し、前線から積極的に奪いにいったが、プレスがうまくはまらない。前半14分に先制されると、後半は1分と13分に追加点を許した。「相手の個のスキルと判断が良く、うまくボールを回された」と池田監督。DF宮地を中心に最後まで粘り、MF三谷らがゴールに迫ったが、ネットは揺らせなかった。

創部8年目で、初出場3位は胸を張っていい。多くの先輩たちが悲願とした全国ベスト4を達成。「新しい歴史をつくれた。つらいことを乗り越えたから今がある」と主将のDF長尾は強調する。生命線の攻守の連係を高めるため、試合後は必ず意見を出し合った。口論に発展することもあったが、本音でぶつかり、チームは次第に一つにまとまる。たくましさを増し、インターハイを迎えていた。

名門の男子だけでなく女子でも「作陽あり」と全国に知らしめ「自分たちはやれると感じた。チームとして共通理解を深め、もっと上に行きたい」とMF内田に手応えがある。日本一へのチャレンジは、冬の高校選手権へと続く。（川中満仁）

サッカー女子準決勝で敗れ、肩を落とす作陽イレブン＝ベストアメニティスタジアム

堅守と決定力 市船橋4度目V

男子

4千人の観客を集めたスタジアムに「ウイ、アー、チャンピオン」と連呼する歓喜の声が響き渡った。気温35度の炎天で行われたサッカー男子決勝は、市船橋が攻撃力で勝る流通経大柏を後半に突き放した。最近7年間で4度目の頂点に立ち、最多優勝回数を更新。勝因は勝負どころで光った堅守と決定力だった。

前半に2度リードしながら追い付かれ、後半も劣勢だった。嫌なムードをFW石田が打破した。後半11分に相手のクリアミスを逃さなかったMF室伏のお膳立てで勝ち越し点を決め、同29分には鋭い切り返しでDFを振り切り、今大会通算5点目を挙げた。エースは「決勝点を狙っていた。持ってますね」としたたる汗を笑顔で拭った。

守備の要で主将のDF磐瀬が警告累積で出場できない窮地は、GK志村が救った。後半に3度も1対1の場面をしのぐ活躍。辛口な朝岡監督も「粘り強く守備で体を張ってくれた。これに尽きる。たくましかった」と賛辞を並べた。

サッカー

（レベルファイブスタジアムほか）

▽男子決勝 市船橋（千葉）4－2流通経大柏（千葉）（市船橋は3年ぶり8度目の優勝）

▽女子準決勝 日ノ本学園（兵庫）。

▽得点者 村田女（東5）1大阪

（決勝が行われなかったため両校優勝となった。日ノ本学園は初開催の前回に続く2連覇。

バレーボール男子は星城（愛知）が決勝で敗れ、3位となった。テニス女子ダブルスの竹浪史華・岩下美穂（学芸館）は岡山勢27年ぶりの表彰台となる3位に頂点に立った。フェンシング女子は大垣南（東海）が優勝した。

北部九州インターハイ

光南はともに3回戦で敗れ、8強入りを逃した。

千葉県勢同士の決勝となったサッカー男子は市船橋が4

山陽女9年ぶり頂点

卓女子団体球

中国中学校大会（山陽新聞社後援）は7日、岡山市の桃太郎アリーナなどで開催。卓球女子団体は、山陽が9年ぶりの頂点に立った。

▽第4代表決定トーナメント 1回戦 中ノ郷3－2柳井、平田3－1湖東▽2回戦 平田3－1中ノ郷▽第4代表決定戦 平田3－2湖北（男女とも上位2校と代表決定戦勝利校が17～20日に岐阜市である全国中学校大会に出場）

中国中学大会

中国中学校大会（山陽新聞社後援）は7日、岡山市の桃太郎アリーナなどで開催。卓球女子団体は、山陽が9年ぶりの頂点に立った。

▽第4代表決定トーナメント 1回戦 中ノ郷3－2柳井、平田3－1湖東▽2回戦 平田3－1中ノ郷▽第4代表決定戦 平田3－2湖北（男女とも上位2校と代表決定戦勝利校が17～20日に岐阜市である全国中学校大会に出場）

◆サッカー

開星が決勝トーナメント進出）

◆軟式野球

（松江総合運動公園野球場ほか）

▽1回戦

大田一（島根）

金光学園（岡山）

▽2回戦

瀬野川（広島）

金光学園（延長九回プレー園1－0瀬野川）

▽3回戦

水島工（岡山）3（単1、複2）

高松東（香川）3（単1、複2）

安芸府中（広島）3（単2、複1）

▽男子団体

（北九州市ほか）

バドミ

ホ

（大分県